

長畝ふるさと通信



【2020年11月号】

■ 泣きっ面にハチ



例年より大幅に遅れて大豆の収穫が始まりました。収穫前にサヤを割って中身の出来具合を確認するととんでもないことに…。正粒はほとんどなく、奇形粒ばかりです。慌てて共済組合に全耕地共済申請を出しました。これまでに経験した事の無い超不作です。

原因として考えられるのは、暖冬で積雪がほとんどなかったことから、カメムシが異常発生したこと。7月末の開花期に長雨で日照不足になった事など、いずれも天候不順です。大豆は一定水準の収量がないと水田転作の補助金が交付されません。コメの大幅減収に続いて正に「泣きっ面にハチ」とはこのことです。



このままでは毎年年末に皆さんにプレゼントしていた「青豆」や「打ち豆」も残念ながら出せそうにありません。何か代替えを検討しています。申し訳ございません。

■ 第15回 収穫感謝祭

コロナの第3波による「我慢の3週間」が始まった11月29日、今年も収穫感謝祭を開催しました。感染防止対策として全員マスク着用で行いましたが、さすがに参加者は3割程度少なかった



ようです。まず最初に佐渡の棚田に関するDVD鑑賞をしました。佐渡には7カ所の棚田がありますが、いずれも存続が困難な状況にあります。「棚田を守ることはふるさとを守ること」であり、近い将来、佐渡全島がその対象になってくるといった危機感を感じています。真剣なまなざしでDVDを見ていた子供達にはどれ程伝わったでしょうか。



15回目の100人鍋ですが、今年は「70人鍋」位に抑えて作りました。使った野菜はほぼ地場産で、子供たちにふるさとの味として思い出に残ってくれたらうれしいのですが・・・。

今回初めて参加してくれたお姉さんが「これってけんちん汁ですか？豚汁って味噌味でしょ・・・」と言われ、毎年醤油味で作ってきたボクにとっては衝撃的な一言でした。「豚肉が入っていれば豚汁ってわけではないのか・・・」

どこにでもヤンチャな子供はいるもので・・・
勢いよく振り下ろした杵はモチではなく臼のへりに「ガコッ」と当たり、ひ弱な杵と臼が両方欠けてしまい、木くずがもちの中へ・・・
「気にしない、気にしない」元気が一番。

この日も子供達の一番人気はつきたてのモチと新之助のおにぎりでした。やっぱり日本人です。今後、これまでの日常を取り戻すことはできないかもしれません。「新しいライフスタイル」とか言われていますが、大切に守りたいものはず～と残したいものです。来年も頑張ります。



■ SDGs(持続可能な開発目標)とは？

最近やたらとTVで目にするSDGs。2015年の国連サミットで採択された2030年までの国際目標だそうで、これから15年かけて様々な観点から世界が達成すべきゴールを表しているとか。

取り組むことは大賛成ですが、「小さなことからコツコツと」確実に進めてほしいと思います。

とりあえず佐渡でできることは何だろうか？もう5年経っているけど・・・

